

04年09月14日自民党拉致問題対策本部会議で荒木代表陳述

自由民主党の拉致問題対策本部（安倍晋三本部長・中山成彬事務総長）は昨日14日、党本部で会議を持ちましたが、この場で調査会代表荒木が特定失踪者問題調査会問題の概要について説明、拉致被害者が少なくとも100人以上に上ること、その解明が進まないのは個々の怠慢というより構造的な問題があることなどを説明、理解を求めました。また、川口市出身の藤田進さんの弟さん、藤田隆司さんが自らの経験として、失踪当初はもちろん、5人が帰国しても兄が拉致であると思わなかったことなどを語り、多数の未認定被害者への対応を求めました。

ご参考まで、当日配付した政府認定に関わる資料を以下につけておきます。

政府認定拉致被害者について

特定失踪者問題調査会

政府認定拉致被害者は次の「10件15人」である（以下敬称略）。

昭和52年

久米裕（石川県警が犯人の一人を逮捕するも不起訴）

横田めぐみ（朝日放送石高健次氏入手情報が発端）

昭和53年

田口八重子（大韓航空機爆破事件犯人金賢姫の証言）

地村保志・浜本富貴恵・蓮池薫・奥土祐木子・市川修一・増元るみ子（産経新聞昭和55年1月7日スクープ）

曾我ひとみ（北朝鮮当局が自ら公表）・曾我ミヨシ（認定理由不明。おそらく曾我ひとみが拉致されたとき一緒にいたということが理由と推測される）

昭和55年

原敕晁（工作員辛光洙が韓国で逮捕され自白）

石岡亨・松木薫（石岡から実家に手紙が届き、そこに松木の名前もあった）

昭和58年

有本恵子（石岡亨の手紙に名前が記載、写真も同封）

※国会で政府が北朝鮮による拉致の存在を認めたのは昭和 63 年 3 月 26 日参議院予算委員会における梶山静六国家公安委員長答弁（昭和 53 年のアベック拉致 3 件 6 人）。その後横田めぐみ拉致が明らかになった平成 9 年 2 月 3 日衆議院予算委員会の政府答弁で 6 件 9 人（当時氏名は公表していないが、アベック拉致の 6 人に加え昭和 52 年の久米裕、昭和 53 年の田口八重子、昭和 55 年の原敕晁を加えたものと思われる）とされる。

それから 3 カ月後の平成 9 年 5 月 1 日の参議院予算委員会で横田めぐみについて北朝鮮による拉致とする答弁があり認定被害者は「7 件 10 人」になる。続いて平成 14 年 4 月 12 日によど号犯柴田泰弘の元妻である八尾恵が東京地裁で自分が有本恵子拉致の実行犯であると証言しするのにあわせ、証言の前日に有本恵子を拉致被害者と発表し「8 件 11 人」となる。しかし、このときは石岡亨・松木薫については認定していない。

9. 17 で北朝鮮側が拉致を認め、リストを出したことによって政府が認定したのは曾我ひとみ・石岡亨・松木薫。さらに曾我ひとみと一緒にいた曾我ミヨシも認定され現在の「10 件 15 人」となっている。

政府認定以外で特定失踪者問題調査会設立以前から拉致されたことが確実とされていたのは寺越昭二・寺越外雄・寺越武志（昭和 38 年の寺越事件）、福留貴美子（昭和 51 年拉致されてよど号犯岡本武の妻となる）、田中実（昭和 53 年ウィーン経由でおびき出され拉致）、小住健蔵（昭和 55 年頃拉致）の 6 人である。なお、このうち田中実、小住健蔵の 2 人と特定失踪者の松本京子について政府は平成 14 年 10 月のクアラルンプールでの日朝交渉で北朝鮮側に非公式に安否確認を求めている。

特定失踪者問題調査会には現在約 420 名の特定失踪者リスト（北朝鮮による拉致の可能性が完全には排除できない失踪者）があり、うち約 200 名についてご家族の同意のもと公開している（通称ゼロ番台リスト）。これらのうち調査の結果拉致の可能性が高いと思われるもの（通称 1000 番台リスト）は平成 16 年 9 月 14 日現在 32 人、その中には写真が出てきた藤田進も入っている。1000 番台リストは今後も相当数追加される見込みである。

リストのなかで拉致でないと分かったケース（国内で生存）は公開者 4 名、非公開者 3 名の計 7 名、これ以外にゼロ番台リストの 1 人石川千佳子（昭和 53 年失踪）は失踪当時殺

害したとする人物が現れているが、伝えられる証言に疑問点もあるため鑑定結果を待っている状態。さらに 1000 番台リストの 1 人山本美保（昭和 59 年失踪）については去る 3 月山梨県警が「失踪 17 日後に山形県遊佐町に漂着した身元不明遺体と DNA が一致した」と発表しているが、この遺体について調査会では遺体の状態や身体のサイズ、遺留品等からして別人のものであると認識している。

以上